

コナラ林におけるホンシメジの菌根形成適地

【背景・目的・成果】商品価値が高いホンシメジの栽培方法が待望されています。また、森林ボランティアに対する里山利活用のメニューが不足しています。そこで、里山利活用ツールとして有力なホンシメジのコナラ林内での栽培方法と菌根形成適地を明らかにすることを試みました。その結果、ホンシメジ接種源をコナラ林内に埋設することで、最短1.5年で子実体が発生することが分かりました。また、コナラの発根要因はコナラ自体と立地条件が関与し、菌糸生存要因には立地条件が関与することも分かりました。

ホンシメジ *Lyophyllum shimeji*

キシメジ科シメジ属の外生菌根菌

- 高い商品価値 ●林内栽培の報告が多い
- 里山林の利活用ツールとして有力

→しかし、栽培方法が一般化されていない



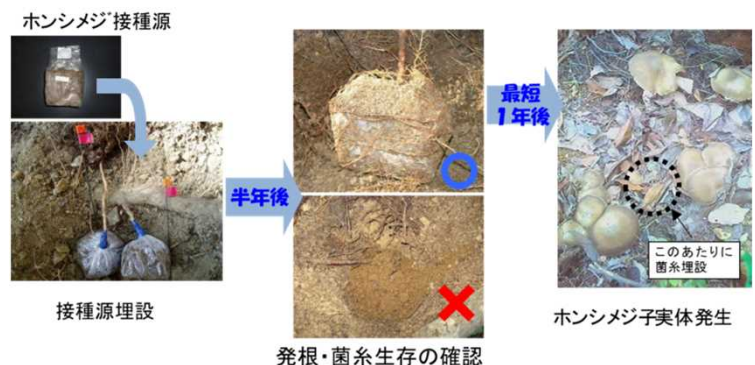
目標

- 栽培方法の検討
- 林内栽培の条件の内の菌根形成条件の一般化



Q1. コナラ林でのホンシメジの栽培方法は？

- 赤玉土基材の接種源
 - コナラの根を切断
 - 切断した根に接種源括り付け
 - ビニール紐とテープで密封
 - 半年後に接種源の袋開封
- 最短1.5年で子実体発生



Q2. 菌根形成に適した条件は？

- 斜面中部の被圧されていないコナラが良
 - 接種の際に使用するコナラの根は(5mm~30mmの中では)太いものが良
- q1. 発根要因は？
- 胸高直径が大きく、根径が太いほど良 ●土壌含水率が高くないところが良
- q2. 菌糸生存要因は？
- 乾燥しすぎないところが良 ●落葉層があまり厚くないところが良

【技術の活用】里山林ボランティアの里山活用メニューの一つとして活用します。